

も、原発には小さな地震動しか襲わない」というごまかしをして、延命させようとしています。もんじゅの再開、40年を超える美浜1号、敦賀1号の運転延長など、もってのほかです。

原子力機構は、今年3月末までに、もんじゅの運転を再開したいと動いています。私たちは、12月14日、原子力機構に対し「もんじゅの耐震性安全評価に対する公開質問状」を提出しました。(質問状の内容は、若狭ネットのホームページに掲載しています。)この回答を迫り、耐震性なき「もんじゅ」の運転再開を止めさせたいと考えています。ナトリウム火災事故で15年間も停止していた「もんじゅ」を動かすなんてとんでもないことです。

これに先立って、私たちは、関西電力にも「美浜原発の耐震安全評価結果」に関する公開質問状を12月7日に提出していましたが、その口頭回答を年末の25日に受けました。関電が本当に真摯に回答してくれるかどうか半信半疑でしたが、見事に、あわい期待を裏切ってくれました。

関電は、活断層の長さや地震動を小さく見積もっていたことを反省するどころか、私たちへの回答には、回答にもならない稚拙な回答文を読み上げるだけでした。たまりかねて再質問すると、長い間、黙り込む始末でした。

関電回答の基本は、「原発の周辺を詳細に地質調査して震源断層を特定し、地震動を評価しており、問題があるとは考えていない」というものでした。地質調査を詳細に行っているから、震源断層や固着域を正確に特定し、地震規模や地震動を正確に評価できるというのです。原子力村にだけ通用する主張ではないでしょうか。阪神・淡路大震災以降、次々と各地で地震が起こり、短周期の揺れ(ビビリ振動)が大きく現れています。「原発は危ない」と警鐘を鳴らし続けているのです。

私たちは2月9日、美浜2号事故19年の申し入れを関電本社に行き、再度耐震問題について伺いいたします。皆さんも、ぜひ参加してください。また、福井県で核汚染の写真展を持ち、原発の危険性を広く訴えたいと考えています。支援カンパをお願いします。

関電のプルサーマル問題で、私たちはMOX燃料を製造するメロックス社でも品質保証ができないということを暴いてきました。九州電力に続き四国電力も本格的に進めようとしており、私たちは四国電力に対し、以下の抗議文を送りました。

私たちは、今年も写真展、学習会、関電交渉、政府交渉などを提起していきたいと思っています。ご支援、ご協力をお願いします。

四国電力本社に対して プルサーマル計画を断念するように！強く申し入れます。

昨年10月23日、関西電力と2回目の交渉を行いました。関西電力とのやりとりで見えてきたのは、「輸入燃料体検査」と自主検査は時間差があるものの、1ロットができあがるごとにその都度行っているようだということです。普通の製造工程では、ロットごとに品質検査を行い、不良率が基準を越えるような事態が続くと、工程が不安定になると判断し、工程改善に入ります。したがって、「良いロット」の1/4が自主検査で不合格になるような異常事態は避けられるはずなのです。ところが、不合格品の製造が続いたということは、「工程改善には時間と経費がかさむためできなかった」のではないのでしょうか。関電もそれを黙認したのではないのでしょうか。そこで、私たちは関西電力とメロックス社の両者間で賠償問題はどうかと聞いたところ、「調整中だ」と認めたのです。

メロックス工場でのMOX燃料製造では、品質の不良率が高くなっており、品質が保証できないということを明らかになってきています。メロックス工場でのMOX燃料製造に関しては、九州電力は部品の取り違い(2008年2月1日発表)、中部電力はMOX梱包時の被覆管への油の付着(2008年9月22日発表)という品質管理上のトラブルを経験しています。関西電力とMOX燃料集合体4体不採用の問題も、BNFL同様、メロックス社も品質保証体制は確立できていないことを証明したのです。また、各電力会社は、自己の持つ原発でプルトニウム利用のプルサーマル計画をさらに推進するのと考えていましたが、昨年11月12日、電源開発と東京電力等7社は約1.3トンのプルトニウムを大間原発のMOX用に譲渡する契約を締結しました。MOX燃料は、ウランより高価格で、高線量で接近して扱うことのできないやっかいなMOXなど、まともに「商売のネタ」と考える経営者はいるのでしょうか。四国電力会社にもお聞きしたいものです。四国電力は、即刻プルサーマル計画を断固中止すべきです。

若狭連帯行動ネットワーク

今後の予定

1月30日(土)午後2時～3時30分

普天間基地はいらない！新基地建設を許さない！

1・30 全国集会 集まれ1万人

場 所： 東京 日比谷公園 野外音楽堂

主 催： 1.30全国集会実行委員会

2月9日(火)午後6時より 関電本社交渉

「美浜2号蒸気発生器細管破断事故から19年」の申し入れ行動

美浜原発耐震問題の公開質問状に誠意ある回答を！

関電本社前集合 (地下鉄四つ橋線「肥後橋」駅下車徒歩7分)

「福井で核汚染の写真展開催」支援カンパのお願い

原発は、運転する限り日常的に死の灰を生み出し、環境を放射能で汚し、労働者をヒバクさせ、原発重大事故が起これば壊滅的な核災害をもたらします。

ウラン採掘からチェルノブイリまで、核汚染の恐ろしさを訴える写真展を福井県内各地で開きたいと考えています。

写真展開催のため、カンパのご協力をお願いします。

写真展開催のカンパ：1口1千円 (何口でもよろしくをお願いします)

「若狭ネットニュース」年間購読費2千円もよろしくをお願いします。

振替口座 若狭ネット 00940-2-100687 ご連絡は、久保まで 072-939-5660

「編集後記」

あけまして おめでとうございます 今年も よろしく申し上げます

美浜原発、もんじゅ、敦賀原発の直下と周辺に大きな地震をもたらす活断層が走っています。しかし、電力も国も原子力施設には小さな地震動しか襲わないというごまかしをして、原発の延長をはかっています。現実に地震が起これば、「想定外だった」と言うだけの御用学者たちは、原発事故が起これば、深刻な被害の責任などとれるはずありません。

私たちは、このような巧妙なごまかし報告書に対して、電力や国に対して公開質問書を提出し、耐震性の問題を鋭く追及していきます。今年も知恵を出し合い、お互いがんばりましょう。 **2010年1月**

再度お願いします。若狭ネット大阪連絡先(久保)へは下記住所へお願いします。

きよ子

〒583-0007 藤井寺市林5-8-20-401